

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

|                |  |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
|----------------|--|------------------------------------|--------------|------|-------------|----|---------|-------|---------|-----|
| 専門分野区分         | 教養基礎   | 科目名                                | 日本語表現法       |      |             |    |         | 科目コード | TL401A1 |     |
| 配当期            | 前期   | 授業実施形態                             | 通常           |      |             |    |         | 単位数   | 2 単位    |     |
| 担当教員名          | 辻 由夏   | 履修グループ                             | 1C(JT/KS/KW) |      |             |    |         | 授業方法  | 講義      |     |
| 実務経験の内容        | キャリアコンサルタント(CDA)として15年間若年者就労支援に従事してきた実務経験をいかし、さまざまな文章の内容を的確に読み取り、自身の考え等を端的にまとめ、適切に文章や口頭で表現できるよう実践的に講義する  |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 学習一般目標         | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語を正しく使うことができ、語彙を正しく選択できる。</li> <li>文法的・意味的に正しい文章を書くことができる。</li> <li>文章の構成を理解し、内容を要約することができる。</li> <li>論理的な思考に基づき、意見文を書くことができる(文章検定3級レベル)。</li> <li>これまでの自分を振り返り、経験から得たことを整理しまとめることができる。</li> <li>自己分析を行い、自分の強みを文章で表現できる。</li> </ul> |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 授業の概要および学習上の助言 | 語彙力、読解力、文章作成力は短時間で身に付くものではなく、日々の積み重ねが大切。普段から小説や新聞など様々な文章を読み、その後、要約、感想を書くなどアウトプットも心掛ける。(例:芸術作品、小説、映像作品の感想文を書く。新聞の社説などの要約、意見文の作成など)  |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 教科書および参考書      | 文章読解、作成能力検定(文章検)3級、公式テキスト、基礎から学べる!文章カステップ【文章検3級対応】   |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 履修に必要な予備知識や技能  | 一般常識程度の知識と語彙力  |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 使用機器           |  |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 使用ソフト          | 筆記用具、辞書(国語辞典など)  |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 学習到達目標         | 学部DP(番号表記)   | 学生が到達すべき行動目標                       |              |      |             |    |         |       |         |     |
|                | 4  | 日本語を正しく使うことができ、語彙を正しく選択できる。        |              |      |             |    |         |       |         |     |
|                | 4  | 文法的・意味的に正しい文章を書くことができる。            |              |      |             |    |         |       |         |     |
|                | 4  | 文章の構成を理解し、内容を要約することができる。           |              |      |             |    |         |       |         |     |
|                | 4  | 論理的な思考に基づき、伝えたい内容を文章として書くことができる。   |              |      |             |    |         |       |         |     |
|                | 5  | 読むこと、書くこと、聞くことへの興味を持ち、積極的に取り組んでいる。 |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 達成度評価          | 評価方法   | 試験                                 | 小テスト         | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他   | 合計      |     |
|                | 学部DP   | 1.知識・理解                            |              |      |             |    |         |       |         |     |
|                |  | 2.思考・判断                            |              |      |             |    |         |       |         |     |
|                |  | 3.態度                               |              |      |             |    |         |       |         |     |
|                |  | 4.技能・表現                            |              | 50   |             |    | 30      |       |         | 80  |
|                |  | 5.関心・意欲                            |              |      |             |    |         |       | 20      | 20  |
|                | 総合評価割合   |                                    |              | 50   |             |    | 30      |       | 20      | 100 |
| 評価の要点          |  |                                    |              |      |             |    |         |       |         |     |
| 評価方法           |  | 評価の実施方法と注意点                        |              |      |             |    |         |       |         |     |

|             |  |
|-------------|--|
| 試験          |  |
| 小テスト        | 授業内で出題された、実技ワークなどの課題に対する取り組みで評価                            |
| レポート        |  |
| 成果発表(口頭・実技) |  |
| 作品          | 意見文を含めた文章作成についての型を習得し その成果として文章作成能力の評価                     |
| ポートフォリオ     |  |
| その他         | 授業内で積極的に課題に取り組んでいるか、日ごろから文章を読み、語彙力を高めているか 科目に対する取り組みとしての評価 |

### 授業明細表

| 授業回数 | 学習内容   | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|--|---------|-------------|
| 第1回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: 授業オリエンテーション</li> <li>■文章力の必要性(シラバス・文章検定の概要説明、授業の趣旨説明)</li> <li>■文章作成力基礎: ブレーンストーミング(ゲーム形式・グループワーク)</li> </ul>  | 講義・実習   |             |
| 第2回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: 文章への苦手意識をなくす/基礎力の必要性和言葉への興味</li> <li>・文章の基本を説明する(文章の正体、文章の目的)</li> <li>・文章作成力基礎: ブレーンストーミング②「ことばによるブレーンストーミング」</li> <li>・語彙・類義語の概念を説明する(3級テキストp.6~10)</li> </ul> | 講義・実習   |             |
| 第3回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: 文章を全体構成という点から見つめる態度を養う</li> <li>・文法について説明する(3級テキストp.12~14)</li> <li>・文章読解(3級テキストp.16~20)</li> <li>・資料分析(3級テキストp.21~26)</li> </ul>                                | 講義・実習   |             |
| 第4回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: わかりやすく伝えることの重要性「文を短く」</li> <li>・分かりやすさの大切さ</li> <li>・短文化の意義とそのコツを説明する(3級テキストp.28~31)</li> </ul>  | 講義・実習   |             |
| 第5回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: 推敲のための注意を認識させる</li> <li>・表現の推敲について(わかりやすさ、文法ミス、敬語の誤用)</li> <li>・表記の推敲について(誤字・脱字、漢字の使い分け、ですます・である)</li> </ul>   | 講義・実習   |             |
| 第6回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: 通信文</li> <li>・敬語について説明する(3級テキストp.29)ビジネスでの敬語など</li> <li>・手紙における敬語(3級テキストp.32)</li> <li>◎ビジネスでのメール文について</li> </ul>  | 講義・実習   |             |
| 第7回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: 手紙文の基本形式を確認させ、記書きの意義・効果を理解させる。</li> <li>・手紙文の形式を確認する(3級テキストp.34)、時候の挨拶</li> <li>・実際に練習する(3級テキストp.35~38) ⇒ ◎送付状(添え状)</li> </ul>                                   | 講義・実習   |             |
| 第8回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: 意見文の型とその意義を理解させる。</li> <li>・意見文の方を説明する(3級テキストp.40)</li> <li>・意見文の内容作りを説明する(3級テキストp.40~44)</li> </ul>   | 講義・実習   |             |
| 第9回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主題: 意見文を作ってみる</li> <li>・事実と意見の関係を確認する(3級テキストp.45)</li> <li>・意見文を書く練習をする。(3級テキストp.46・3級問題集p.62~67)</li> </ul>   | 講義・実習   |             |

|      |   |         |  |
|------|---|---------|--|
| 第10回 | <p>■主題: 自分の経験を伝える(1)<br/> ◎「学生時代に力をいれたこと」の整理をしよう<br/> ◎文章化を前提に5W1Hでまとめてみる(課題)</p>   | 講義・実習   |  |
| 第11回 | <p>■主題: 自分の経験を伝える(2)<br/> ◎「学生時代に力をいれたこと」の整理をしよう<br/> ◎これまでの経験から、とりくんだことを文章にして伝えよう(課題)</p>  | 講義・実習   |  |
| 第12回 | <p>■主題: 自己分析(自分の強み、弱みについて分析する)<br/> ◎あなたはどんな人? ※グループワーク<br/> ◎自分の強みと弱みについて考えてみよう ※グループワーク<br/> ◎自分の長所(強み)が表れた具体的な行動を探してみる(課題)</p> | 講義・実習   |  |
| 第13回 | <p>■主題: 自己PR文を作成する<br/> ◎文章作成のコツ「PREP法」<br/> ◎自己PRの文章を作成する(課題)</p>  | 講義・実習   |  |
| 第14回 | <p>■主題: 日本語表現(語彙力の定着)<br/> ■問題集「基礎から学べる!」文章カステップ(3級対応)から指定した章について、自主的に課題を行い採点する。</p>  | 課題解決型授業 |  |
| 第15回 | <p>■主題: 日本語表現(総合力)<br/> ■講師の指示に従い、課題に取り組む。講師からのメールに対して、ビジネスマナーに配慮した内容で返信を行う。<br/> ※詳細については授業の中で説明する</p>                           | 課題解決型授業 |  |